



# おぎ だより

平成28年 3月号

杉並区立井荻小学校

平成28年2月29日発行 No.572

## 心のエネルギー

校長 梅津 典子

「子どもは、必要とされて初めて大人になる」という言葉があります。「家族の一員として必要とされている」「学級の仲間として必要とされている」というように、集団の中で個としての存在が認められていること、そして、その子ども自身が周りから認められていることを実感していることが大切だと思います。子どもは、必要とされるという他者からの信頼感をもとにして、自らの生活をよりよいものにしていき、全てにわたって、意欲にあふれた行動をし、豊かな自己実現をする生き方をしていくのだと思います。

では、どうされると、自分自身が必要とされていると子どもは実感するのでしょうか。それは、第一に、子どもが自分の言いたいことや気持ちをよく聴いてもらった時です。子どもは自分や自分自身の周りに起こった出来事を人に話したがりです。それをしっかりと受け止め、聴いてあげることが大切です。聴いてもらったことで安心し、気持ちの整理をすることができるのです。大人は、まず素晴らしい聴き手にならなければいけません。

第二に、子どもが必要とされている場があることです。家族の一員として子どもに役割を果たす体験をさせることです。例えば、毎日、新聞を取りに行く、食べ終わった食器を片づけるなど、小さなことでも、子どもに自分が必要であると感じさせることが大切です。

第三は、必要とされていると感じる言葉や態度を表わすことです。「そうしてもらってよかったよ」「そこまで考えてくれていたのか」「頼りにしているよ」「さすが……だね」「待ってるよ」など、本心から「うれしい気持ち」

を言葉や態度で子どもに投げかけることが大切です。このような言葉を投げかけるためには、普段から子どもの行動をよく見て、子どもの話をよく聴き、子どもに「任せること」をはっきりさせ、多少失敗してもじっと待つてあげることが大切です。

自分は『必要とされている』と思うことで、“心のエネルギー”をもらい、さまざまなことに挑戦し、試行錯誤しながら自分のやっていることに自信を深め、やがて大人（周りの人に必要とされる人）へと成長していくのだと考えています。

この一年間、ご理解ご協力ありがとうございました。子どもたちの生き生きと輝く心身の成長を願って、今後も努力してまいります。



# 《 1 組 》 ～もうすぐ卒業～

・ぼくが6年間で一番うれしかったことは、ほたる水路が実行計画になったことです。そこから、地道に努力を続ける大切さを学びました。  
会田 慎太郎

・5年生の時の、初めての移動教室が一番の思い出です。部屋で友達と話したことや、山登りなど、友達がいたからすべて楽しかったです。  
浅沼 菜々海

・ぼくの6年間で一番の思い出は、弓ヶ浜移動教室です。とても楽しかったです。みんなで協力しなければ、楽しさは味わえなかったと思います。  
石川 祐万

・ぼくの思い出は、友達と過ごしたことです。友達と楽しんだり、何かを乗り越えたりしたことが、すごく自信につながりました。  
泉 陽色

・私の6年間で一番の思い出は、弓ヶ浜移動教室です。2泊3日を友達と過ごしたことで、あらためて友達の大切さを知ることができたからです。  
市田 さち

・井荻小学校での思い出は、6年生が行う清掃活動です。友達と、タバコを50本以上拾った日が一番心に残っています。次の6年生にもがんばってほしいです。  
上村 啓人

・ぼくは、清掃活動に行くのを、最初はしぶっていました。しかし、やってみるとおもしろかったです。この経験から、やってみなければ分からないということを学びました。  
内田 耀太

・ぼくは組体操で、団結することの大切さを学びました。練習ではピラミッドが失敗することも多かったけど、本番で成功しました。この学びを生かしていきたいです。  
椋山 勇陽

・私は、運動会の組体操で多くのことを学びました。特に、努力することの大切さと、友達の大切さを感じました。中学でもこの2つを大切にしたいです。  
児玉 新子

・清掃活動で、自分から行動すると楽しいということが分かりました。地域をきれいにすることは、とても楽しかったです。  
小林 大悟

・この6年間で一番心に残ったのは、6年の運動会です。特に、組体操のピラミッドでは、協力することや、最後まであきらめないことの大切さを学びました。  
斉井 航太郎

・井荻小の6年間は、友達との学校生活が楽しかったので、中学ではもっとたくさん友達をつくってみたいです。  
品川 湧登

・私は、5年生の運動会で初めての騎馬戦の上にのりました。最初はよろけて全然のれなかったけど、練習してうまくのれるようになってうれしかったです。  
ジョエル イル

・私の一番の思い出は組体操です。理由は、学年全員で協力してピラミッドを完成させることができ、協力することやあきらめないことの大切さを学べたからです。  
所澤 花歩

・私の6年間で一番の思い出は、富士学園移動教室です。なぜなら、声をかけ合って山を登ったときの達成感が心に残っているからです。  
鈴井 風音

・6年間で一番の思い出は、組体操です。最後のピラミッドはみんなで声をかけ合ったのできたし、ぼくが苦手な肩車もできました。あきらめないことの大切さを学びました。中尾 友哉

・私は、移動教室で声をかけ合うことで自由な時間を生み出せることを学びました。出し物の練習は、笑いながら楽しみながら最高の思い出をつくることができました。  
西野 はな

・ぼくの6年間で一番の思い出は、連合運動会です。一生懸命やると楽しさが味わえるということを学びました。中学生になっても忘れないようにしたいです。  
野澤 薫

・朝遊びのサッカーでは、みんなのプレーがすごかったです。楽しい出来事がたくさんありました。朝遊びボランティアの人に感謝したいです。  
平井 慈恩

・ぼくの6年間の思い出は、様々な場面で成長を感じたことです。音楽会や学芸会などの大きな行事で、全員でつくり上げた感動はすばらしいものでした。  
廣居 龍

・ぼくが小学校生活で一番心に残っていることは、組体操です。そこから、あきらめないことの大切さを学びました。  
藤居 翔大

・ぼくは、弓ヶ浜移動教室が一番の思い出です。友達と3日間過ごしたこと、特に部屋での自由時間が楽しかったです。  
牧瀬 直翔

・一番心に残っていることは、連合運動会の長縄です。最初は全然とべませんでしたが、アドバイスもらってとべました。本番は、自分の中で最高記録だと思いました。  
増田 央輔

・私は、小学校生活の中で弓ヶ浜移動教室が一番印象に残っています。特にその中でも、下田散策やバスレクなどが楽しかったです。  
室谷 彩佑未

・私の一番の思い出は組体操です。みんなで力を合わせて一つのものをつくるのは、とてもすごいことだと思います。力を合わせることを、ずっと大切にしたいです。  
矢木 結

・私は組体操で、一生けん命やることで誰かを喜ばせたり、自分の自信につなげたりすることができると学びました。何事にも自分の全力で取り組んでいきたいです。  
矢萩 ふくら

・6年間で一番心に残ったことは、組体操です。組体操では、全員で協力してピラミッドや肩車が立ちました。そこから、協力すれば何でもできるということを学びました。  
山岸 大輝

・ぼくは、連合音楽会の曲、エルクンパンチェロで、難しいリコーダーの指使いを克服し、曲を完成させました。この思い出は、中学に行っても忘れません。  
李 光帆

・小学校での一番の思い出は、6年での組体操です。一人一人が協力し、自分から本気で動いたから、本番で感動するものができました。  
渡邊 明吉



有志で清掃活動！

学び多き、弓ヶ浜移動教室

## 《2組》

・ぼくが6年間で一番楽しかったのは、富士学園移動教室です。お互いに励まし合って山に登ったあと、みんなで食べたアイスは最高でした。  
阿部 直太郎

・私の一番の思い出は、弓ヶ浜移動教室で友達と部屋で遊んだ時のことです。6年生になってさらに仲が深まっていて楽しかったです。  
飯村 胡春

・私の一番の思い出は、6年間で最後の社会科見学です。普段は入れない国会議事堂や最高裁判所に入れて、社会の学習とつながったので面白かったからです。  
稲富 妙子

・ぼくの6年間で一番の思い出は、運動会での組体操です。組体操のピラミッドやタワーでみんなと協力できたことが一番心に残っています。  
岩本 堅

・ぼくが6年間で一番思い出に残っていることは、弓ヶ浜移動教室です。友達と一緒に過ごし協力しながら生活したことで、友達の大切さを学ぶことができました。  
上原 大

・ぼくが6年間で楽しかったことは、弓ヶ浜移動教室のサンドスキーです。最初は、びっくりするほどスピードが出て、ブレーキが全然できなくて怖かったけど、そのスリルが楽しかったです。  
榎 竜之介

・私の6年間の思い出は最後の組体操です。特にピラミッドで、いやだなと思ってつらいことから逃げるのではなく、挑戦してみるものの大切さを学びました。  
大竹 璃子

・ぼくは6年間でふり返ってみると、1年生の時に初めてサッカーの試合に出て点を決めたときのことが思い出に残っています。あの時の感動は、生まれてから12年間で一番うれしかった思い出です。  
兼俊 昂希

・ぼくの小学校生活で、最も印象に残っている出来事は組体操です。リハーサルまで成功できなかったピラミッドが本番成功してとてもうれしかったです。あきらめないことの大切さを知りました。  
川崎 泰生

・最高学年の6年生として、また1年生のお手本として楽しく一年間を過ごせたとと思います。中学生になっても楽しんで勉強に励みたいと思います。  
小林 美沙希

・私が6年間で学んだことは、「命の大切さ」です。飼育委員会でミルクとココアが亡くなったことはとてもつらかったけれど、だからこそ今を大切にすることに気が付くことができました。中学にもこの気持ちをもっていきたいです。  
宿野部 さら

・ぼくが小学校生活で一番心に残っていることは、ドイツの小学校に通ったことです。そこで、たとえ長い時間離れていても「友情」があれば、友達といつでもつながっていられるということを学びました。  
杉山 恵亮

・ぼくがこの6年間で一番思い出に残っていることは移動教室です。きまりや時間を守って行動しないと他の時間が使えなくなってしまうというのが心に残りました。  
鈴木 宏和

・私の6年間の一番の思い出は、移動教室で友達と仲良くして、協力することの大切さを班活動の時に学んだことです。このことを、中学校生活でも生かしていきたいです。  
早田 杏仁

・ぼくがこの6年間で一番心に残った出来事は、富士学園移動教室です。初めてでとても不安でしたが、仲間と過ごしながらか成長した3日間はとても楽しかったです。  
立花 遼馬

・ぼくが一番心に残ったことは、連合運動会の長縄です。毎日朝や中休み、昼休み、放課後の練習に欠かさず出て、ほとんど引つかからなくなっていたけど、本番でけがをしてしまい出られなかったことが悔しかったです。  
田中 寛輝

・ぼくの6年間で一番の思い出は、弓ヶ浜移動教室です。とくに班の中で協力して、サンドアートをつくり上げることができたときは、とてもうれしかったです。  
富田 孟志

・私が一番心に残っているのは、4年生の運動会です。一生懸命練習したら、リレーで一番にバトンを渡すことができました。その時の達成感は今でも忘れられません。  
長尾 美佑

・私が6年間で一番楽しかったことは、移動教室で生活班のみんなと自由に遊んだことです。思いっきり遊んだので、とても楽しく「また行きたい！」と何度も思いました。  
中原 花

・ぼくが一番心に残った思い出は、弓ヶ浜移動教室です。みんなでいっしょに朝ご飯を食べたり、部屋で過ごしたり、普段は経験できないことができて楽しかったからです。  
長谷川 颯

・ぼくの6年間で一番の思い出は、弓ヶ浜移動教室の磯観察です。「そこにカニがいる」などと言いながら一緒に活動した友達がいました。友達の大切さを学ぶことができました。  
濱本 新

・ぼくの6年間の思い出は、弓ヶ浜移動教室です。友達と協力して磯観察などをしたり、宿舎での生活を共にして、普段は学べないことが学べてうれしかったです。  
広瀬 良平

・ぼくは5年生の時にバスケット部に入部しました。最初はランニングの声出しができなかったけど、練習を積み大きな声が出せるようになりました。これからも続けて上手になりたいです。  
福村 正樹

・ぼくの6年間の思い出は、サッカーの合宿です。合宿ではチームメイトとご飯を食べたり、一日中練習したりして、すごく充実した二泊三日でした。  
松尾 伍

・ぼくが一番心に残ったことは、弓ヶ浜移動教室です。みんなでやったすなリニックで、みんな汗をかきながら楽しんでいて、ぼくも楽しくなりました。仲間がいるからこそ楽しいんだなと思いました。  
三浦 颯太

・私が一番思い出に残っているのは、弓ヶ浜移動教室です。いろいろとみんなで協力して取り組み、成し遂げたことがとても楽しかったです。  
宮崎 董子

・ぼくが一番心に残ったことは、富士学園移動教室です。理由は、自由時間などでみんなといっぱい遊べたからです。  
村山 竜規

・ぼくは弓ヶ浜移動教室での磯観察で、生き物を大切にしなければならないことを学びました。この体験を忘れずに、これからの生活でも意識していきたいです。  
山本 健太

・私が6年間で一番心に残っていることは、組体操のピラミッドです。この活動で学んだことは、友達の大切さ、真剣にやることの大切さです。中学校でも大切にしたいです。  
渡邊 みゆう

# 3月行事予定

1	火	保護者会（5・6年）
2	水	6年生を送る会 ふれあいタイム
3	木	保護者会（1・2年）
4	金	保護者会（3・4年）
5	土	お箏 いけばな教室
6	日	
7	月	荻中授業体験（5年）
8	火	
9	水	お話会 ふれあいタイム
10	木	感謝の会 お話会 いおぎ丸全体会
11	金	避難訓練
12	土	善福寺川の活動引き継ぎ式
13	日	
14	月	
15	火	B時程 木星を観る会 PTA総会
16	水	ふれあいタイム
17	木	音楽朝会
18	金	
19	土	
20	日	春分の日
21	月	振替休日
22	火	
23	水	給食終・大掃除・卒業式前日準備
24	木	修了式・卒業式予行
25	金	卒業式
26	土	春季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

## 来年度4月初めの予定

4月6日（水）始業式・入学式  
 4月7日（木）大掃除  
 4月8日（金）給食開始

## 受賞おめでとうございます！！

6年 中尾 友哉さん  
 第59回 全国学芸サイエンスコンクール  
 社会科自由研究部門 入選

6年 富田 孟志さん  
 杉並子どもサイエンス・グランプリ 教育長賞

3年 熊 晴蒔さん  
 杉並子どもサイエンス・グランプリ  
 教育センター所長賞

6年生が清掃活動で区の青少年善行賞を受賞しました。

## 3月の生活目標

「感謝の気持ちを伝えよう」

生活指導部 猜 拓郎

3学期最後の月である3月は、1年間の総まとめの月です。この1年間お世話になった教室、机・椅子、自分の持ち物に感謝の気持ちをもって、きれいにしてから次に引き継いでほしいと思います。同時に、お世話になった方々にもきちんと感謝の気持ちを伝えられるといいですね。感謝の気持ちを伝える言葉に、「ありがとう」があります。

心ここにあらずで  
 ただ口だけ動かすありがとう  
 ただ筆だけ滑るありがとう  
 心得顔のありがとう

心の底からこんこんと  
 泉のように湧き出して  
 言葉にするのももどかしく  
 静かに溢れるありがとう

気持ちの深度はさまざまだが  
 ありがとうの一言に  
 ひとりひとりの心すら超えて  
 世界の微笑がひそんでいる

谷川俊太郎

「ありがとうの深度」より…抜粋

今月の目標は、「感謝の気持ちを伝えよう」です。みなさんはどんな「ありがとう」を伝えますか？今年度を振り返り、気持ちのこもったありがとうを伝えられるといいですね。

## 6年生を送る会 特活部

今年度も3月2日に、全校児童による『6年生を送る会』が行われます。これまで学校全体をひっぱってくれた6年生のために、一緒に楽しめるゲームの準備をし、合唱・合奏の練習を重ねてきました。また、6年生の姿を思い描きながら考えた呼びかけの言葉を、プレゼントとして贈ります。当日の装飾も、学年ごとに分担して準備をしています。これらの企画・運営を中心となって進めるのは5年生です。送る会は、児童会の引き継ぎの会でもあるのです。どの学年にとっても、心に残る会になることを願っています。